

## 信条は「困った人をほっとかない」



### 大企業のリストラ許さず

党職場対策委員会責任者として、パナソニック、ソニー、キヤノン、ダイハツ、ダイキンなどの無法人リストラ・首切りと対決。その実態を国会で告発してきました。「労働者・技術者を使い捨てる企業と産業に未来はない」が持論です。

被災地・宮城でソニーのリストラとたたかい勝利した小高洋さん 質問は圧巻でした。傍聴席



で聞いていて涙が止まらなかった。非正規で誇りを持って働いた私たちの悔しさを丸ごと受け止め国にぶつけてくれました。

### 維新 自民 タカ派政治ストップ

「組合活動に参加したことはあるか」「街頭演説はだれに誘われたか」「回答しないと処分する」。橋下徹大阪市長が全市職員に行った「思想調査」。

山下さんは、予算委員会で思想・良心の自由を侵す「現代の踏み絵だ」と批判しました。いま維新、自公などの憲法改悪、民主主義破壊に正面から立ち向かっています。

**略歴** 1960年香川県生まれ。53歳。鳥取大学農学部卒。大阪かわち市民生協(現パルコープ)勤務。95年参院大阪選挙区で初当選。2007年7月参院比例で再選。13年2月党書記局長代行に。参院総務委員、同行政監視委員。妻と3男

要求とたたかいあるところ **山下** しゃきあり



雇用延長に道を開いたソニー労組 仙台支部の組合員と



「原発やめよ」「大飯止めよ」と訴え (関電本店前行動で)

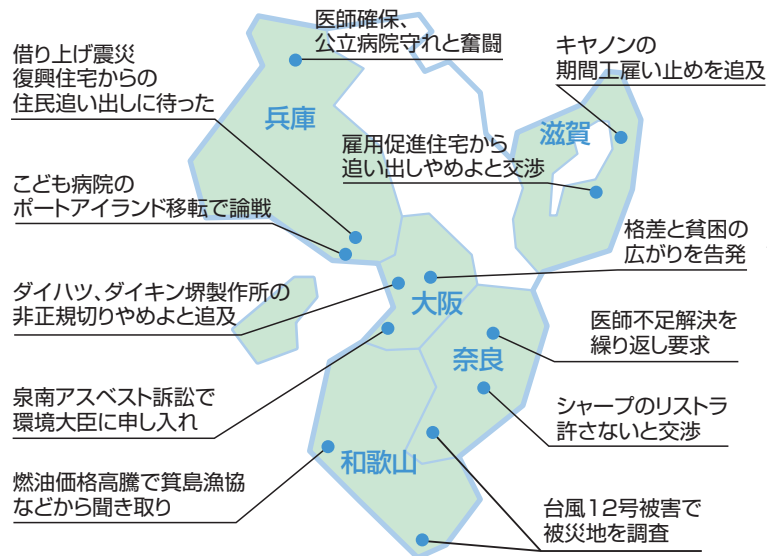


紀伊半島に大きな被害をもたらした台風12号災害を調査

## 質問184回 参院 ナンバー①

(2012年末現在)

「現場の声を届ける」—山下さんの質問は、リアルで思いがこもっています。テーマは多彩。質問・討論は184回と全参院議員でトップ。抜群の働きです。



山下さんの活動地域は京都をのぞく近畿 紹介できたのは、山下さんの活動のごく一部です。

## 阪神・淡路大震災が国会活動の原点

初当選は阪神・淡路大震災の半年後。道路や港は復興するのに、被災者の生活再建は置いてきぼりでした。山下さんは「政府がやらないなら自分たちで」と、被災者や作家の小田実さん(故人)らと超党派の勉強会を立ち上げて法案を提出。生活再建への公的支援に道を開きました。その後拡充された被災者生活再建支援法(全壊世帯に300万円)は、不十分ではあっても東日本大震災被災者の支えになっています。

### 阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議事務局長 岩田伸彦さん



「大震災を生き延びた人がなぜ孤独死せねばならんのか」の熱い思いで、「個人財産には支援しない」という国の厚い壁を破り、18年間ともに頑張ってくれたのが山下さん。私たちの仲間です。

**弁護士 渡辺和恵さん** 山下さんは現場の苦しみ、怒り、喜びを本当にまっすぐに受け止めて、熱い心で政治に迫ってくれる人です。35歳で初当選してからまったく変わっていません。国政にも共産党



にもかけがえのない山下さんに何としても引き続き国会で奮闘してもらわなければなりません。